

制御システムのセキュリティリスク分析ガイド オンラインセミナー ～入門編～ 開催のご案内

制御システムへのサイバー攻撃は、近年では正常なシャットダウンの妨害による設備損壊、工場システムのマルウェア感染による生産停止、変電所の不正操作による大規模停電など、事業に実害を及ぼす事例も発生しています。このような中、制御システムの保有事業者において、運用・制御技術に対する脅威及び対策の必要性の認識が進んでいます。

IPAでは、セキュリティ確保のためのリスクマネジメント強化手法として近年注目されているリスクアセスメントの3つのプロセス（リスク特定・リスク分析・リスク評価）の中でも、中心的な作業であるリスク分析にフォーカスして解説した「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド」（以下、分析ガイド）を公開しています。

本セミナーでは、リスク分析の全体像と共に、分析ガイドで紹介している2種類のリスク分析手法（資産ベースのリスク分析、事業被害ベースのリスク分析）の具体的な実施手順を解説します。

2018～2019年度は集合形式（於：IPA会議室）で開催してきましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は**オンライン形式での開催**となります。技術的内容は、昨年度までと同一です。

主催	独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
開催期間	2020年12月16日（水）10:00～2021年1月29日（金）17:00
開催方法	開催期間中、受講者に対して以下を提供いたします。 ① 講義動画（合計約3時間）をYouTube限定公開で配信 ・開催期間中は、いつでも、ご自身のペースで、繰り返しご視聴できます。 ② 電子メールによる質疑応答 ・年末年始休暇（12/29～1/3）の間は、メールの応答はお休みさせていただきます。 受講を希望される方は、YouTubeの動画視聴環境、IPAとのメール送受信環境が必要です。
定員	100名程度
受講費	無料
募集対象	①制御システムを保有する事業者の方 ②制御システムのインテグレーター、ベンダー、メーカーの方 ③制御システムのリスク分析に興味のある方 お申込み締切日までに定員以上の受講希望があった場合は、1法人・団体あたりの受講者を制限させて頂くこと等がございます。予めご了承をお願いいたします。
セミナーで学べること	セキュリティ対策としてのリスク分析の有効性及びリスク分析についての理解を深め、具体的なリスク分析の実施方法と、投入可能な人員及び予算の範囲で出来るだけ効果的にリスク分析を行う方法を学ぶことができます。
テキスト	「制御システムのセキュリティリスク分析ガイド 第2版（2020年3月版）」を使用します。 テキストのPDFファイルは、IPAのウェブサイトより各自ダウンロードしてください。

お申込み方法

11月16日（月）以降、以下のWebサイトにお申込み方法の詳細を掲載し、メールによる受講申込みの受付を開始いたします。

<https://www.ipa.go.jp/security/controlsystem/seminar202012.html>



制御システムの セキュリティリスク分析ガイド 第2版

「リスク分析」は、サイバー攻撃に対するリスクを低減する重要なプロセスです。本ガイドは、リスク分析を中心とした、制御システムの「リスクアセスメント」の具体的な手順を解説した実践的な手引きです。制御システムを保有する事業者自身でリスクアセスメントの実施が可能となります。

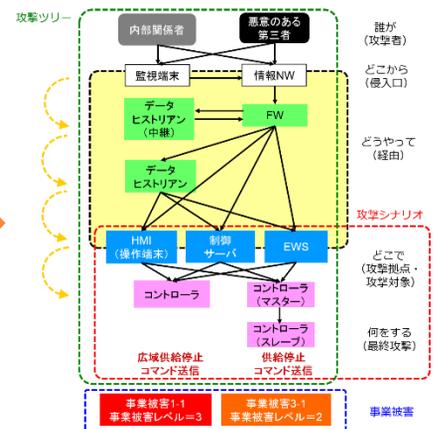
「リスク分析」＝ 制御システムやそれによって実現している事業の重要性、想定される脅威とその発生可能性、脅威に対するセキュリティ対策状況／脆弱性を評価し、相対評価可能な「リスク値」として把握するプロセス

「リスクアセスメント」＝ リスク特定、リスク分析及びリスク評価のプロセス全体

事業に多大な被害を及ぼすリスクの高い箇所やリスク低減に最も効果的な個所を特定し、優先順位付けしたセキュリティ投資が可能となります。時間経過に従い発生する新たな脅威に対して、リスクアセスメントのPDCAサイクルを確立し、継続的なリスク低減が可能となります。

ガイドの概要と特徴

- ・ リスク分析の具体的な実施手順を提示
- ・ 2通りの**詳細リスク分析の手法**を解説
 - － 資産ベースのリスク分析
 - － **事業被害ベースのリスク分析**
- ・ **リスク分析のための素材**の提供
(リスク分析シートのフォーマットと実施例、他)
- ・ リスク分析結果の**活用例**の提示
(対策強化策の検討方法、セキュリティテストの解説)



【事業被害、攻撃シナリオ、攻撃ツールの関係】

ガイド本編の目次

1. セキュリティ対策におけるリスク分析の位置付け
 2. リスク分析の全体像と作業手順
 3. リスク分析のための事前準備 (1) ～分析対象の明確化～
 4. リスク分析のための事前準備 (2) ～リスク値と評価指標～
 5. リスク分析の実施 (1) ～資産ベースのリスク分析～
 6. リスク分析の実施 (2) ～事業被害ベースのリスク分析～
 7. リスク分析結果の解釈と活用法
 8. セキュリティテスト
 9. 特定セキュリティ対策に対する追加基準
- 付録 (チェックリスト、インシデント事例、用語集等)



【ガイド本編】384頁



【別冊】96頁



【活用の手引き】37頁

IPA 制御 リスク分析ガイド

検索

<https://www.ipa.go.jp/security/controlsystem/riskanalysis.html>

